

◆ **今週のコメント** (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ **デング熱**の報告が第52週に1例(20歳代男性)ありました。症状は2日以上続く発熱、発疹です。感染地域は国外(シンガポール、ベトナム、タイ)で、感染経路は蚊です。2018年の累積報告数は3例となりました。
- ・ **レジオネラ症**の報告が第52週に2例(40歳代及び60歳代男性)(第51週追加報告分含む)ありました。感染地域はともに国内です。2018年の累積報告数は29例となりました。
- ・ **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**の報告が第52週に2例(70歳代男性及び女性)あり、2018年の累積報告数は46例となりました。
- ・ **劇症型溶血性レンサ球菌感染症**の報告が1例(20歳代男性)あり、症状はショック、肝不全、DIC、軟部組織炎です。本年の初めての報告です。
- ・ **侵襲性肺炎球菌感染症**の報告が第52週に1例(70歳代女性)あり、2018年の累積報告数は73例となりました。また、第1週に2例(70歳代及び80歳代男性)あり、本年の累積報告数は2例となりました。
- ・ **梅毒**の報告が第52週に1例(40歳代女性)あり、症状は初期硬結、鼠径部リンパ節腫脹です。感染地域は国内で、感染経路は性的接触です。2018年の累積報告数は65例となりました。
- ・ **破傷風**の報告が第52週に1例(50歳代男性)ありました。2018年の累積報告数は1例でした。
- ・ **百日咳**の報告が第52週に6例(10歳未満男性2例、10歳代男性2例、30歳代男性1例及び10歳代女性1例)(第51週追加報告分1例含む)ありました。2018年の累積報告数は87例となりました。
- ・ **風しん**(検査診断例)の報告が第52週に2例(20歳代及び50歳代男性)(第51週追加報告分含む)ありました。2018年の累積報告数は14例となりました。
- ・ **インフルエンザ**の第1週の定点当たり報告数は京都市で8.10(559例)となりました。全国では16.3となり、また、近畿では滋賀県、大阪府及び京都府で注意報レベルの10を超えています。北海道、岐阜県、愛知県及び高知県の4道県では警報レベルの30を超えています。

◆ **今週のトピックス: <風しん>**

平成30年の京都市の風しん累積報告数は14例、全国の累積報告数は2,917例で、平成24年から25年にかけての大流行以来の増加となりました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ **発生状況**

全数把握の感染症

【2018年第52週】

- ・ 二類: 結核 8例(肺結核 5例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 2例
【2018年1月以降の累積報告数 339例(肺結核 153例, その他結核 79例, 潜在性結核感染者107例)うち喀痰塗抹陽性 78例】
- ・ 四類: デング熱 1例【2018年1月以降の累積報告数 3例】
- ・ 四類: レジオネラ症 2例【2018年1月以降の累積報告数 29例】
- ・ 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2例【2018年1月以降の累積報告数 46例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 2例【2018年1月以降の累積報告数 73例】
- ・ 五類: 梅毒 1例【2018年1月以降の累積報告数 65例】
- ・ 五類: 破傷風 1例【2018年1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類: 百日咳 6例【2018年1月以降の累積報告数 87例】
- ・ 五類: 風しん(検査診断例) 2例【2018年1月以降の累積報告数 14例】

【2019年第1週】

- ・ 二類: 結核 1例(肺結核 なし, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 なし
【1月以降の累積報告数 1例(肺結核 0例, その他結核 0例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 0例】
- ・ 五類: 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 2例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	2018年第52週			2019年第1週		
	感染症名	定点当たり報告数	報告数	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	6.64	458	インフルエンザ	8.10	559
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	7.05	303	① 感染性胃腸炎	3.02	130
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.05	45	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.44	19
	③ 伝染性紅斑	0.63	27	③ 伝染性紅斑	0.30	13
	④ 咽頭結膜熱	0.53	23	④ 水痘	0.26	11
	⑤ 水痘	0.49	21	⑤ 咽頭結膜熱	0.16	7
眼科	流行性角結膜炎	0.30	3	流行性角結膜炎	0.10	1

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <風しん>

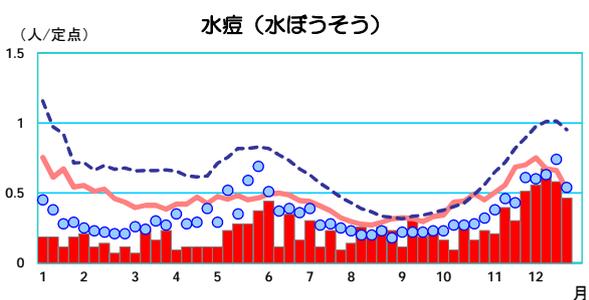
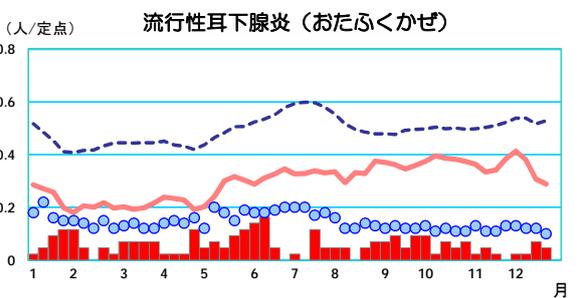
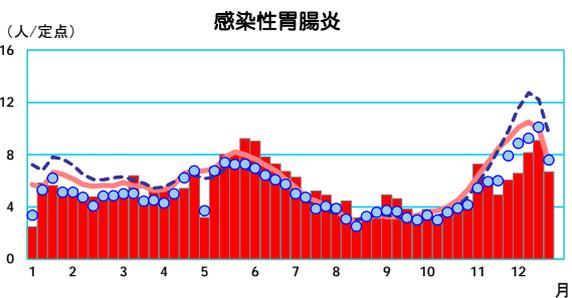
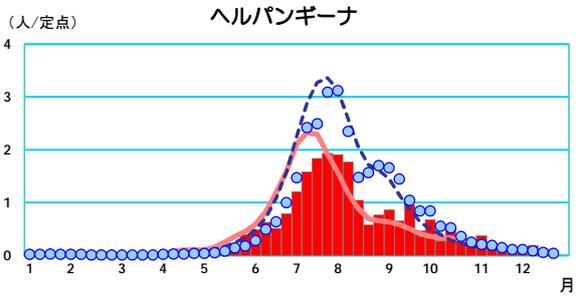
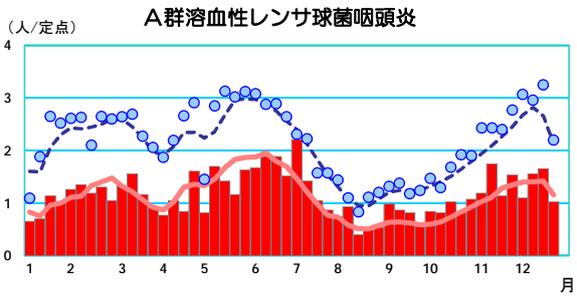
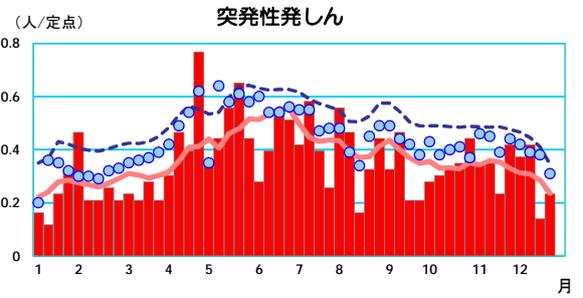
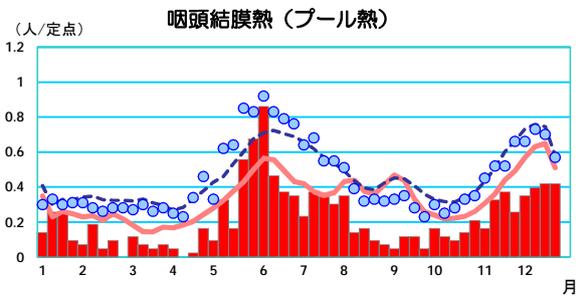
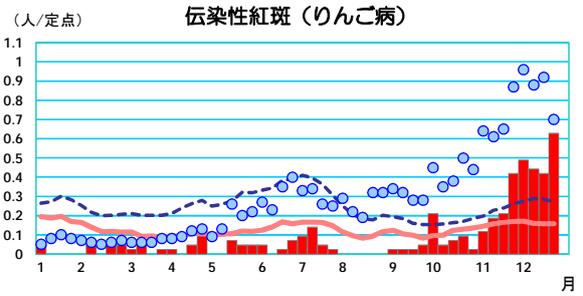
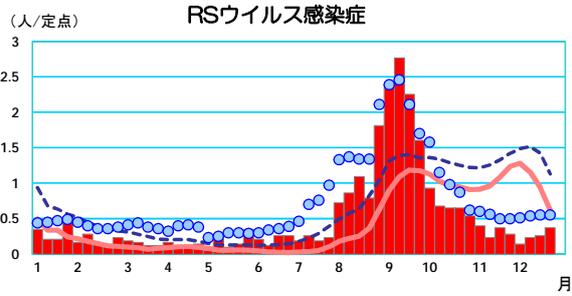
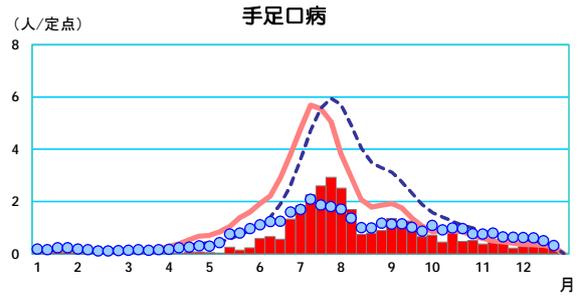
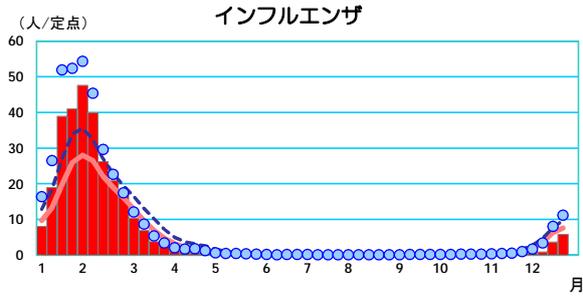
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、2019年1月10日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

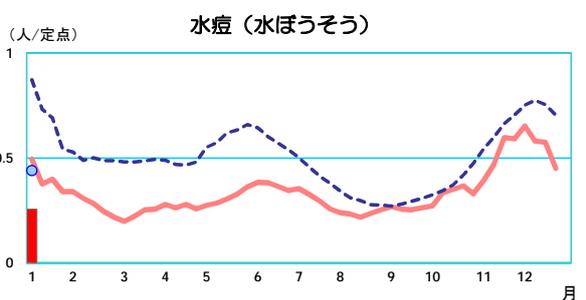
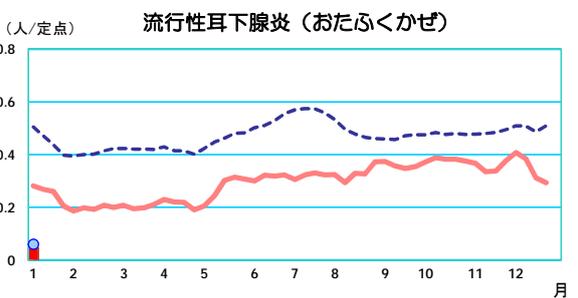
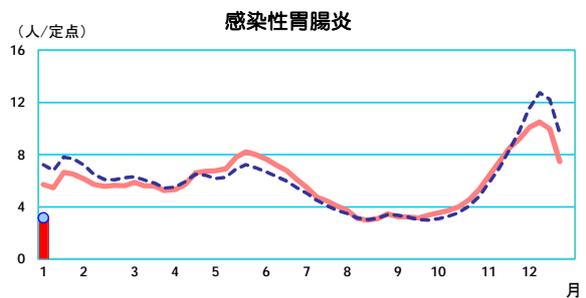
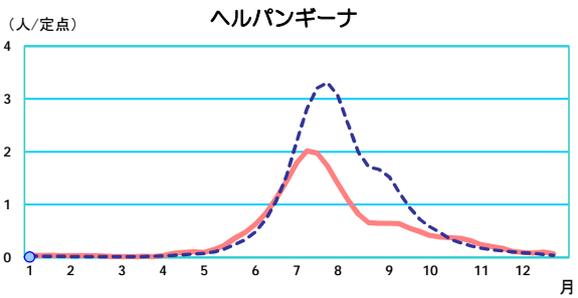
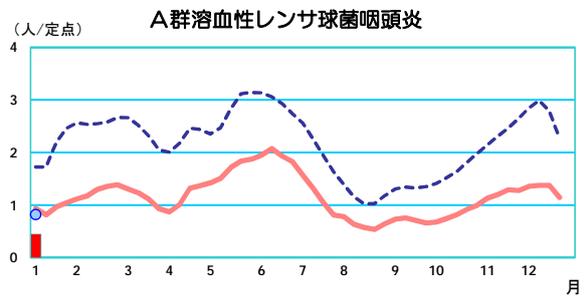
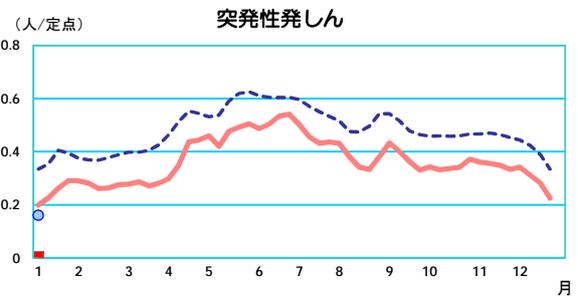
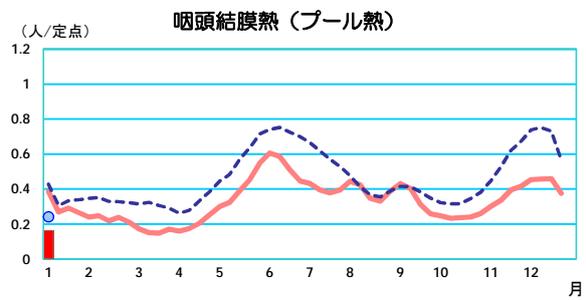
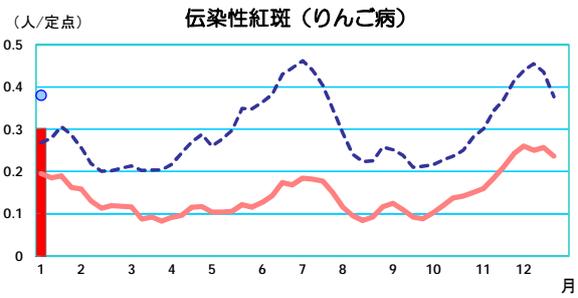
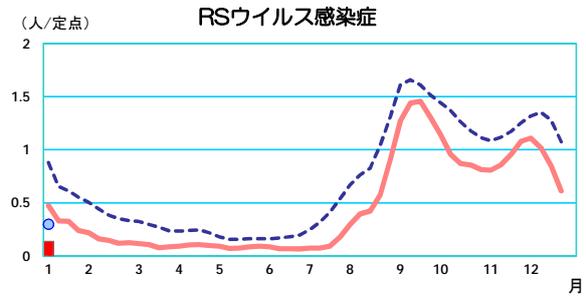
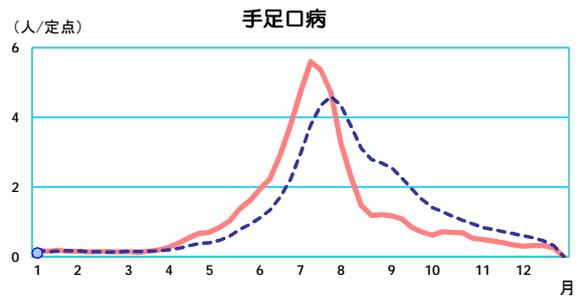
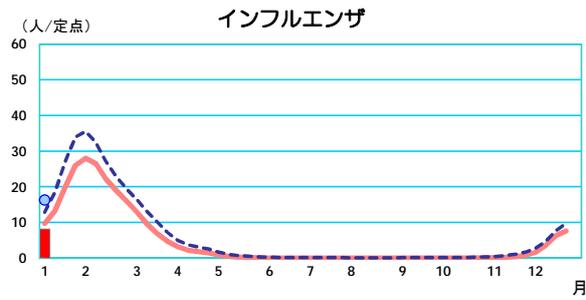
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2018年）



インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2019年）



第1週(12月31日～1月6日)トピックス: <風しん>

平成30年の京都市の風しん累積報告数は14例、全国の累積報告数は2,917例で、累積報告数は地域に偏りがあるものの、平成30年は全国規模で風しんが大流行となり、平成24年から25年にかけての大流行以来の増加となりました(表1)。都道府県別にみると、特に東京都での累積報告数が945例と、全国の約3割を占めています。このほか、埼玉県、千葉県、神奈川県、愛知県、大阪府、福岡県で100例を超えました(図1)。また、性別及び年齢階級別にみると、ワクチンの定期接種の機会がなかった30歳～50歳代の男性(1,885例)が、全体の約6割を占めています(図2)。

風しんは小児がかかっても、通常あまり重症化しませんが、風しんに対する十分な免疫を持たない女性が妊娠中、特に妊娠20週頃までにかかると、胎児が風しんウイルスに感染し、難聴、心疾患、白内障、精神や身体の発達の遅れなどの障害を持って生まれる可能性があります。これを「先天性風しん症候群(CRS)」といい、平成24年～25年の大流行のときは、平成24年10月～26年10月の間に全国で45例のCRSが報告されました。

度重なる風しんの流行を受け、昨年、日本産婦人科医学会や日本産科婦人学会などが、2020年度までの風しん排除を目的に「風しんゼロ」プロジェクトを立ち上げ、「2(ふー)月4(しん)日」の「風しん(ゼロ)の日」を中心に、2月を「風しんゼロ」月間と定め、赤ちゃんを包む「おくるみ」をモチーフにしたロゴ(図3)を作成するなど、風しんに関する情報発信や啓発活動を進めています。

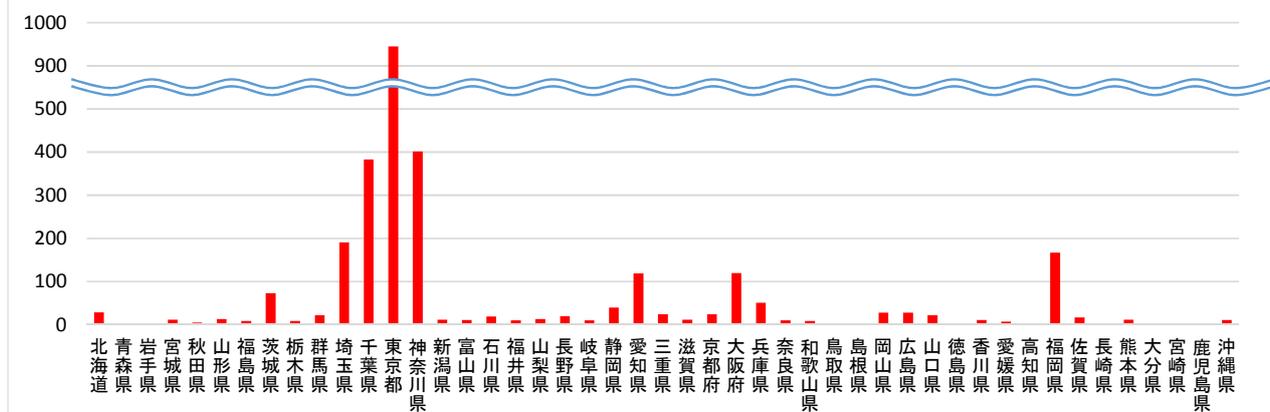
京都市では、CRSの予防のため、妊娠を希望する女性等を対象に風しん抗体検査の助成及び予防接種の一部公費負担を行っています。詳細については、以下のURLを御覧ください。

○京都市情報館「風しん抗体検査の助成・風しん予防接種の一部公費負担を継続します！」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000163145.html>

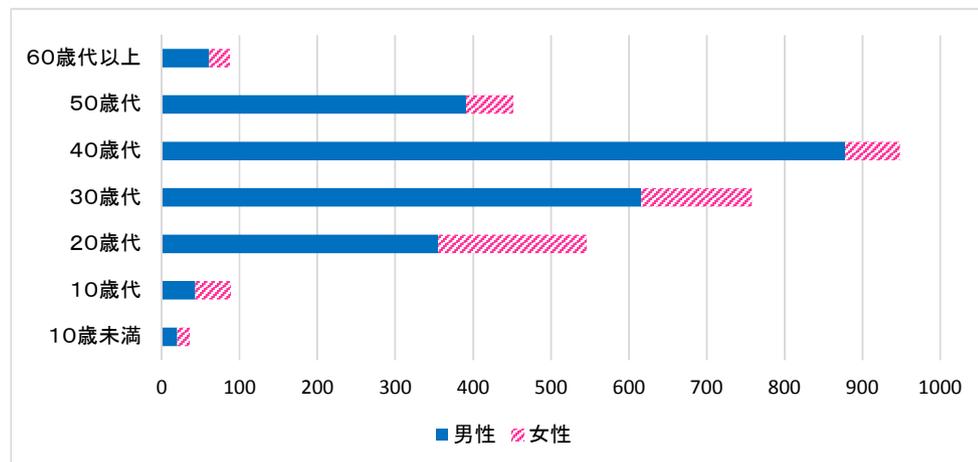
(表1)京都市及び全国の報告数の推移(平成22年～平成31年1週まで)

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 1週まで
京都市(人)	0	0	26	210	1	1	0	0	14	0
全国(人)	87	378	2,386	14,344	319	163	126	91	2,917	45

(図1) 都道府県別の累積報告数(平成30年)



(図2)全国における性別及び年齢階級別内訳(平成30年)



(図3)「風しんゼロ」プロジェクト ロゴ

〔国立感染症研究所ホームページから引用(平成31年1月7日閲覧)〕

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

疾病,行政区別報告数

集計対象:2018年52週

2018年12月24日～2018年12月30日

データ入手日:2019年1月10日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	42	3	1	1	2	-	-	-	-	1	-	-	2						
上京	35	-	6	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	72	6	1	4	33	3	-	1	-	-	-	-	-						
中京	35	-	3	4	12	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	37	1	2	1	39	1	-	-	-	-	-	-	-						
山科	30	1	-	2	13	-	1	4	2	-	-	-	-						
下京	21	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-						
南	72	1	-	3	18	-	3	1	-	1	1	-	-						
右京	56	2	8	8	48	5	1	6	4	-	-	-	1						
伏見	33	-	1	9	91	4	5	8	6	-	-	-	-						
西京	25	2	1	11	42	4	-	7	1	-	1	-	-						
京都市計	458	16	23	45	303	21	11	27	13	2	2	-	3	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	6.00	0.75	0.25	0.25	0.50	-	-	-	-	0.25	-	-	2.00						
上京	7.00	-	2.00	0.67	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	10.29	1.50	0.25	1.00	8.25	0.75	-	0.25	-	-	-	-	-						
中京	7.00	-	1.00	1.33	4.00	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	12.33	0.50	1.00	0.50	19.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-						
山科	4.29	0.20	-	0.40	2.60	-	0.20	0.80	0.40	-	-	-	-						
下京	7.00	-	-	-	0.50	-	0.50	-	-	-	-	-	-						
南	14.40	0.33	-	1.00	6.00	-	1.00	0.33	-	0.33	0.33	-	-						
右京	7.00	0.40	1.60	1.60	9.60	1.00	0.20	1.20	0.80	-	-	-	1.00						
伏見	3.00	-	0.14	1.29	13.00	0.57	0.71	1.14	0.86	-	-	-	-						
西京	3.13	0.40	0.20	2.20	8.40	0.80	-	1.40	0.20	-	0.20	-	-						
京都市計	6.64	0.37	0.53	1.05	7.05	0.49	0.26	0.63	0.30	0.05	0.05	-	0.30	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除く。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

年齢階級, 疾病別報告数

集計対象: 2018年52週

2018年12月24日～2018年12月30日

データ入手日: 2019年1月10日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ (※1)	年齢1	458	-	6	11	9	20	14	16	17	15	25	7	74	29	57	42	54	29	10	15	8	
RSウイルス感染症	年齢3	16	3	4	5	2	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		23	-	3	5	3	3	1	3	1	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		45	-	1	2	4	5	3	12	5	3	3	2	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		303	1	26	54	35	31	28	22	18	16	12	6	19	4	31	-	-	-	-	-	-	-
水痘		21	-	-	-	4	1	2	1	2	5	1	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		11	-	-	3	1	1	1	2	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		27	-	-	1	2	1	6	2	4	2	3	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		13	-	5	7	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎			3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ (※1)	年齢1	6.64	-	0.09	0.16	0.13	0.29	0.20	0.23	0.25	0.22	0.36	0.10	1.07	0.42	0.83	0.61	0.78	0.42	0.14	0.22	0.12	
RSウイルス感染症	年齢3	0.37	0.07	0.09	0.12	0.05	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.53	-	0.07	0.12	0.07	0.07	0.02	0.07	0.02	0.02	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.05	-	0.02	0.05	0.09	0.12	0.07	0.28	0.12	0.07	0.07	0.05	0.09	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		7.05	0.02	0.60	1.26	0.81	0.72	0.65	0.51	0.42	0.37	0.28	0.14	0.44	0.09	0.72	-	-	-	-	-	-	-
水痘		0.49	-	-	-	0.09	0.02	0.05	0.02	0.05	0.12	0.02	0.05	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.26	-	-	0.07	0.02	0.02	0.02	0.05	0.02	-	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.63	-	-	0.02	0.05	0.02	0.14	0.05	0.09	0.05	0.07	0.05	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.30	-	0.12	0.16	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎			0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.20	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除く。
 ※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
 ※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。
 ※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

週, 疾病別報告数

集計対象:2018年52週

データ入手日:平成31年1月10日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)		22	27	38	57	247	458
RSウイルス感染症		16	12	6	10	11	16
咽頭結膜熱		16	11	15	17	18	23
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		49	66	47	67	71	45
感染性胃腸炎		212	260	282	351	391	303
水痘		13	22	24	29	25	21
手足口病		20	9	12	21	18	11
伝染性紅斑		9	18	21	19	18	27
突発性発しん		10	18	16	18	6	13
ヘルパンギーナ		3	5	3	8	5	2
流行性耳下腺炎		1	-	1	1	3	2
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		4	1	3	4	4	3
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-
合計		375	449	468	602	817	924

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)		0.32	0.39	0.55	0.83	3.58	6.64
RSウイルス感染症		0.37	0.28	0.14	0.23	0.26	0.37
咽頭結膜熱		0.37	0.26	0.35	0.40	0.42	0.53
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.14	1.53	1.09	1.56	1.65	1.05
感染性胃腸炎		4.93	6.05	6.56	8.16	9.09	7.05
水痘		0.30	0.51	0.56	0.67	0.58	0.49
手足口病		0.47	0.21	0.28	0.49	0.42	0.26
伝染性紅斑		0.21	0.42	0.49	0.44	0.42	0.63
突発性発しん		0.23	0.42	0.37	0.42	0.14	0.30
ヘルパンギーナ		0.07	0.12	0.07	0.19	0.12	0.05
流行性耳下腺炎		0.02	-	0.02	0.02	0.07	0.05
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.40	0.10	0.30	0.40	0.40	0.30
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-
合計		8.84	10.28	10.78	13.81	17.14	17.71

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除く。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第1週

疾病,行政区別報告数

2018年12月31日～2019年1月6日

データ入手日:2019年1月10日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	74	-	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	1						
上京	60	-	2	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-						
左京	13	-	-	2	3	1	-	-	1	-	-	-	-						
中京	65	2	1	-	12	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	22	1	-	-	28	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	31	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-						
下京	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	131	1	-	3	9	-	-	1	-	-	-	-	-						
右京	49	-	2	7	29	3	-	6	-	-	-	-	-						
伏見	46	2	2	2	33	4	2	3	-	-	2	-	-						
西京	38	-	-	2	10	1	-	2	-	-	-	-	-						
京都市計	559	6	7	19	130	11	5	13	1	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	10.57	-	-	-	0.75	0.25	-	-	-	-	-	-	1.00						
上京	12.00	-	0.67	1.00	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-						
左京	1.86	-	-	0.50	0.75	0.25	-	-	0.25	-	-	-	-						
中京	13.00	0.67	0.33	-	4.00	0.33	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	7.33	0.50	-	-	14.00	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	4.43	-	-	-	0.60	-	0.60	-	-	-	-	-	-						
下京	10.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	26.20	0.33	-	1.00	3.00	-	-	0.33	-	-	-	-	-						
右京	6.13	-	0.40	1.40	5.80	0.60	-	1.20	-	-	-	-	-						
伏見	4.18	0.29	0.29	0.29	4.71	0.57	0.29	0.43	-	-	0.29	-	-						
西京	4.75	-	-	0.40	2.00	0.20	-	0.40	-	-	-	-	-						
京都市計	8.10	0.14	0.16	0.44	3.02	0.26	0.12	0.30	0.02	0.02	0.05	-	0.10	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第1週

年齢階級, 疾病別報告数

2018年12月31日～2019年1月6日

データ入手日:2019年1月10日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	65歳-	70歳以上				
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	559	4	4	18	18	11	16	12	8	12	16	5	48	40	91	77	70	49	25	18	17
RSウイルス感染症	年齢3	6	2	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		7	-	-	2	1	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		19	-	-	1	-	1	1	2	3	4	1	2	3	-	1	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		130	1	8	20	14	14	9	5	13	6	7	9	18	2	4	-	-	-	-	-	-
水痘		11	-	-	-	-	-	1	-	2	3	1	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		5	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		13	-	-	-	-	2	-	3	4	1	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎			1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	65歳-	70歳以上				
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	8.10	0.06	0.06	0.26	0.26	0.16	0.23	0.17	0.12	0.17	0.23	0.07	0.70	0.58	1.32	1.12	1.01	0.71	0.36	0.26	0.25
RSウイルス感染症	年齢3	0.14	0.05	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.16	-	-	0.05	0.02	-	0.02	-	0.02	-	0.02	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.44	-	-	0.02	-	0.02	0.02	0.05	0.07	0.09	0.02	0.05	0.07	-	0.02	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		3.02	0.02	0.19	0.47	0.33	0.33	0.21	0.12	0.30	0.14	0.16	0.21	0.42	0.05	0.09	-	-	-	-	-	-
水痘		0.26	-	-	-	-	0.02	-	0.05	0.07	0.02	0.05	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.12	-	-	-	-	-	0.02	0.02	0.05	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.30	-	-	-	-	0.05	-	0.07	0.09	0.02	-	-	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.05	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎			0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第1週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2019年1月10日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	27	38	57	247	458	559
RSウイルス感染症	12	6	10	11	16	6
咽頭結膜熱	11	15	17	18	23	7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	66	47	67	71	45	19
感染性胃腸炎	260	282	351	391	303	130
水痘	22	24	29	25	21	11
手足口病	9	12	21	18	11	5
伝染性紅斑	18	21	19	18	27	13
突発性発しん	18	16	18	6	13	1
ヘルパンギーナ	5	3	8	5	2	1
流行性耳下腺炎	-	1	1	3	2	2
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	3	4	4	3	1
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	449	468	602	817	924	755

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	0.39	0.55	0.83	3.58	6.64	8.10
RSウイルス感染症	0.28	0.14	0.23	0.26	0.37	0.14
咽頭結膜熱	0.26	0.35	0.40	0.42	0.53	0.16
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.53	1.09	1.56	1.65	1.05	0.44
感染性胃腸炎	6.05	6.56	8.16	9.09	7.05	3.02
水痘	0.51	0.56	0.67	0.58	0.49	0.26
手足口病	0.21	0.28	0.49	0.42	0.26	0.12
伝染性紅斑	0.42	0.49	0.44	0.42	0.63	0.30
突発性発しん	0.42	0.37	0.42	0.14	0.30	0.02
ヘルパンギーナ	0.12	0.07	0.19	0.12	0.05	0.02
流行性耳下腺炎	-	0.02	0.02	0.07	0.05	0.05
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	0.30	0.40	0.40	0.30	0.10
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	10.28	10.78	13.81	17.14	17.71	12.74

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。